

東京支部 Chair からの御礼 —役員任期を終えるに当たって— IEEE 東京支部 2023-2024 Chair 相澤 清晴 (東京大学 教授)

2023-2024 年の東京支部長を拝命しました相澤清晴です。会員の皆様からの強いご支援により、任期をまっとうすることができました。2025 年からは、平本俊郎氏を支部長にした新体制のもとでさらに発展するものと確信しています。東京支部の会員数は、減ることなく、常に微増を続けています。それぞれの会員にとって、価値のあるつながりが作れるコミュニティでありつづけたいと思います。

東京支部の活動を始めた時は、ちょうど世の中がコロナ問題から抜け出る時でもありました。私にとっての最初の活動は、ベトナムホーチミンで開かれた Region 10 Meeting への出席でした。これまで経験してきた技術的な会議やジャーナルとしての IEEE の側面とは全く異なり、そこではメンバーシップや地域活動についての議論、報告が行われていました。日本の 9 支部と Japan Council それぞれが役員を IEEE の費用で派遣する、アジアの支部同士の意見交換や懇親のための会合です。技術系の会議とは全く異なる内容、雰囲気がとても新鮮でした。支部の活動もそうですが、Young Professionals, Student Branch, Life Members, Women in Engineering, History Committee, Fellow Committee 等のように特定の分野によらない活動が行われていることを知りました。

大それたことはできないかもしれませんが、東京支部に関わるにあたり、2 つのことに注目しようと思いました。一つは、日本のエクセレンスが、IEEE というグローバルな場で認められることを支援すること、もう一つは、3 か月に一度の東京支部の理事会を有意義なものにすることでした。前者は、IEEE というグローバルな場を活用してはじめてできることで、IEEE Milestone、IEEE Fellow、IEEE Senior Member などが重要な指標になります。後者に関しては、理事会を刺激の多いものにするように、東京近郊の企業訪問をしながら開く遠足型にしてみました。

前者は、Committee がすでに効果的な活動をしていました。Milestone は新たな申請が 2 年の間に十分な数（東京支部 8 件、他支部 5 件）あり、その間の受賞も複数（東京支部で 2 件贈呈式を実施、日本全体では 7 件）ありました。IEEE Fellow はほぼ増減がありませんでしたが、IEEE Senior Member は大きく増加しました。この増加が、先々の Fellow に結びつくものと期待しています。

後者の遠足型の理事会は、楽しいものとなりました。IBM、サイバーエージェント、東芝、Line ヤフーといった会社を訪ねて、会社の会議室をお借りして理事会を開きました。企業の中を見学させてもらうこともありましたし、冒頭には企業からの 15 分ほどのプレゼンをいただきました。（ご厚意で受け入れてくださった皆様ありがとうございました）。また、理事会の後は、会場の近くで、東京支部理事の懇親会を開きました。2 時間の急ピッチな理事会では全く見えない話が伺えました。遠足 & 懇親の工夫は、理事同士がつながりを作るのに大いに役立ったと思いますし、理事会の参加率の高さに影響したと思っています。自分は、理事会の後のそれより長い懇親会を楽しみにしておりました。

また、2024年8月には、Region 10で隔年で開催されるSYWL Congressが代々木で開かれ、広くRegion10からの参加者が集まった会合を日本の9支部でサポートしました。アジアから広く集まったStudents, Young Professionals, Women In Engineering, Life Membersがリーダーシップを育て、ネットワーキングする大変活発なイベントとなりました。さらに、会場を同じくして東京支部では、産業界とアカデミック IEEE との連携イベントとして Industry Engagement Workshop (IEW) 2024を開催し、大企業、メガベンチャー、スタートアップからのトークは参加者にとっても刺激的でした。

2025年には、IEEEの最上位の式典であるIEEE Vision, Innovation, and Challenges (VIC) Summit and Honors Ceremonyがはじめて米国をでて、東京で4月23日、24日に開かれます。IEEEの主要なメダル受賞者が式典に訪れ、その前後でイベントが開かれるでしょう。

さらに、Region 10の会議であるHumanitarian Technology Conference (HTC) 2025が、千葉商科大学にて9月29日から10月1日に開かれます。Beyond SDGsをテーマにRegion 10から広く研究者が集う会合になります。

最後に、東京支部は、理事会役員の東芝の佐田豊氏、奥村晴彦氏、東京理科大の樋口健一氏と相澤で、月に一度程度のZOOM打ち合わせをしながら、様々な相談をしました。また、事務局の加藤さん、東芝 金さん、木村さんには、多大な助力をいただきました。何とかこの2年間を乗り切れたのは、このコアメンバと積極的に活動した理事会メンバー、委員会メンバーのおかげです。この場を借りて、関係の皆様感謝いたします。

最後に、2025年からの新体制の東京支部の活動を通して、日本のプレゼンスが一層高められていくことを祈念いたします。

IEEE東京支部事務局からのお知らせ

Tokyo Bulletin はメールにて発行させて頂いております。

東京支部では会員の皆様のシニアメンバーへのアップグレードを推奨しております。本部ホームページ上で[Online 申請](#)ができます。詳細については[Senior Member 申請方法](#)をご参照ください。

住所等のご変更は、必ずIEEE本部に届け出てください。[Web Account](#)にサインインし、Profileメニューからのご変更が可能です。

会員の皆様からのご意見、ご要望などのお問い合わせは tokyosec@ieee-jp.org までお願いいたします。